

様式 1

県立銚田第二高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びと、将来を見据えた系統的なキャリア教育を充実させて、一人一人が希望する進路の実現を図るとともに、地域社会との連携を推進し、地域振興に貢献するリーダーとなる人材を育成する。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、探究の過程で身につけたことを説明、解説できるようになる。</li> <li>・自らの探究の過程を記録できるようになり、ライフプランを考え、行動に移すことができるようになる。</li> <li>・地域の課題、世界の課題を探究することで、未来を創る一人であることを認識し、主体的に活動できるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、探求の過程で身につけたことを説明、解説できるか。</li> <li>・自らの探求の過程を記録し、ライフプランを考え、行動に移すことができるか。</li> <li>・地域の課題、世界の課題を探究することで、未来を創る一人であることを認識し、主体的に活動できるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の特性に合わせ、学年・学校全体で対応する。</li> <li>・S C等、校内外の専門家や保護者との連携する。</li> <li>・現在の困り感を把握し、支援の体制を整える。</li> </ul>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を知り、他者を知り、地域の課題を知る</li> <li>・進路志望分野ごとに班を編成し、自分たちが関わる地域社会の課題や、国際的な課題からテーマを作り出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の各施設</li> <li>・農家</li> <li>・銚田市役所</li> </ul>	課題の発見・解決に向け主体的・協働的に活動できる生徒。
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と協力し、自分や社会の未来を考える。</li> <li>・修学旅行先である沖縄県の平和と歴史、文化・風土に関して、テーマを設定し、その課題について情報を収集する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行業者</li> <li>・地域の各施設</li> </ul>	社会を生きていく上で必要な社会性を身につけ、今後より良い社会を目指すための解決策を考えようとする生徒。
3年 (商業・情報・国語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>”・昨年度の振り返りとともに、一人一人の進路実現を見据えて、各分野における課題の発見や解決に向けた情報収集をおこなう。</li> <li>・進路実現に向けて自己分析をおこなうことで自己理解を深め、今後の課題を明確にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適性検査</li> <li>・インターネット</li> <li>・書籍（図書館の活用）</li> <li>・進路の手引き</li> </ul>	知識及び理解、進路実現のための自己理解や、各課題の発見・解決のために情報収集をおこなうことで、各分野の知識・技能を身につける。”